

## 1. 略歴

1986年3月	京都大学文学部文学科中国語学中国文学専攻卒業
1986年4月	京都大学文学部聴講生
1988年4月	京都大学大学院文学研究科修士課程中国語学中国文学専攻入学
1990年3月	同上 修了(文学修士)
1990年4月	京都大学大学院文学研究科博士課程中国語学中国文学専攻進学
1991年3月	同上 退学
1991年4月	京都大学人文科学研究所助手
1997年4月	奈良女子大学文学部講師
1999年4月	同上 助教授
2000年4月	国文学研究資料館文献資料部助教授
2000年4月	奈良女子大学文学部併任助教授(～2001年3月)
2001年10月	東京大学大学院総合文化研究科併任助教授
2002年10月	東京大学大学院総合文化研究科助教授
2002年10月	国文学研究資料館文献資料部併任助教授(～2003年9月)
2007年4月	東京大学大学院総合文化研究科准教授
2012年4月	同上 教授
2015年5月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

## 2. 主な研究活動

## a 主要業績

## (1) 単著

- 『漢文脈の近代 清末＝明治の文学圏』、名古屋大学出版会、2005年、全322頁
- 『漢文脈と近代日本 もう一つのことばの世界』、日本放送出版協会(NHK ブックス)、2007年、全235頁
- 『漢文スタイル』、羽鳥書店、2010年、全296頁
- 『漢詩の扉』、角川学芸出版(角川選書)、2013年、全200頁
- 『漢字世界の地平』、新潮社(新潮選書)、2014年、全223頁
- 『漢文脈と近代日本』、角川ソフィア文庫、角川学芸出版、2014年、全252頁

## (2) 共著

- 『古典日本語の世界 漢字が作る日本』(東京大学教養学部国文・漢文学部会編) 東京大学出版会、2007年、全278頁。(執筆「[コラム1]反切1」30-31頁、「頼山陽の漢詩文 近世後期の転換点」189-215頁)
- 『朱子語類』訳注 卷十～十一(興膳宏・木津祐子・齋藤希史訳注) 汲古書院、2009年、全324頁。
- 『海外見聞集』新日本古典文学大系明治編5、岩波書店、2009年、全706頁。(執筆「森田思軒『訪事日録』(校注)453-516頁、「天然自由の文体」683-693頁)
- 『古典日本語の世界[二] 文字とことばのダイナミクス』(東京大学教養学部国文・漢文学部会編) 東京大学出版会、2011年、全264頁。(執筆「はしがき」i-v頁、「和習と仮名 漢字圏における文字と言語」3-28頁、「[コラム1]白川静ブーム」29-30頁、「[コラム3]候文」116-117頁)
- 『近代中国研究入門』(岡本隆・吉澤誠一郎編) 東京大学出版会、2012年、全272頁。(執筆「文学史」175-202頁、「座談会」233-265頁)
- 『翻訳小説集一』新日本古典文学大系明治編14、岩波書店、2013年、全536頁。(執筆「天路歷程意訳」(校注)143-360頁、433-434頁、471-478頁、「翻訳のプロGRESS」507-520頁)

## (3) 編著等

- 『注釈漂流紀事』(飛鳥井雅道・齋藤希史共編著) 京都大学人文科学研究所、1996年、全600頁
- 『日本を意識する 東大駒場連続講義』、講談社(選書メチエ) 2005年、全284頁
- 『嘉靖本 古詩紀』第一巻(興膳宏監修、横山弘・齋藤希史共編) 汲古書院、2005年、全477頁
- 『嘉靖本 古詩紀』第二巻(興膳宏監修、横山弘・齋藤希史共編) 汲古書院、2005年、全544頁
- 『嘉靖本 古詩紀』第三巻(興膳宏監修、横山弘・齋藤希史共編) 汲古書院、2005年、全510頁

(4) 論文

- 「潘岳「悼亡詩」論」、『中國文學報』39 冊、京都大学文学部中国語学中国文学研究室、1988 年、47-74 頁
- 「居の文學 六朝山水 / 隱逸文學への一視座」、『中國文學報』42 冊、京都大学文学部中国語学中国文学研究室、1990 年、61-92 頁
- 「小説の冒険 政治小説とその華訳をめぐって」、『人文學報』69 号、京都大学人文科学研究所、1991 年、1-29 頁
- 「新国民之新小説 梁啓超と明治日本文学界」、『廣東康梁研究会編『戊戌後康梁維新派研究論集』、廣東人民出版社、1994 年、238-252 頁
- 「『浮城物語』の近代」、『人文學報』75 号、京都大学人文科学研究所、1995 年、115-134 頁
- 「冒険もの」、『大浦康介編『文学をいかに語るか 方法論とトポス』、新曜社、1996 年、431-445 頁
- 「象徴としての漢字 フェノロサと東洋」、『宇佐美齊編『象徴主義の光と影』、ミネルヴァ書房、1997 年、276-289 頁
- 「『玉臺新詠箋注』攷」、『研究年報』41 号、奈良女子大学文学部、1998 年、27-41 頁
- 「文学観念形成期の梁啓超」、『狭間直樹編『共同研究 梁啓超』、みすず書房、1999 年、296-330 頁
- 「居賦 之系譜 閑居賦・山居賦・郊居賦」、『第四屆辭賦學學術研討會論文集 國際辭賦學論文集』、江蘇教育出版社、1999 年、289-293 頁
- 「論語写本」、『伊藤玄二郎編『エヴォラ屏風の世界』、かまくら春秋社、2000 年、65-74 頁
- 「風景」、『六朝から盛唐まで』、『興膳宏教授退官記念中国文学論集』、汲古書院、2000 年、203-220 頁
- 「支那」再論」、『共生から敵対へ 第 4 回日中関係史国際シンポジウム論文集』、東方書店、2000 年、213-231 頁
- 「文学史の近代: 「和漢」から「東亜」へ」、『古屋昭夫・山室信一編『近代日本における東アジア問題』、吉川弘文館、2000 年、154-181 頁
- 「詩議 詩と運命」、『横山俊夫編『言語力の諸相 試行的共同研究報告』、京都大学人文科学研究所共同研究資料叢刊第 4 号、2000 年、43-50 頁
- 「謝靈運の山居 居の文學(二)」、『中國文學報』61 冊、京都大学文学部中国語学中国文学研究室、2000 年、19-48 頁
- 「近代文学への認識と実践 梁啓超とその周辺」、『狭間直樹編『京都大学人文科学研究所 70 周年記念シンポジウム論集 西洋近代文明と中華世界』、京都大学学術出版会、2000 年、185-198 頁
- 「『讀詩之法』 朱熹における古典の内在化」、『平成 10 年度~14 年度科学研究費補助金特定領域研究(A)「古典学の再構築」成果報告書(研究代表者、中谷英明)』、『古典学の現在』、2001 年、91-114 頁
- 「明治の遊記 漢文脈のありか」、『明治文学の雅と俗』、『文学』増刊、岩波書店、2001 年、47-58 頁
- 「『記事論說文例』 明治初期銅版作文書の系譜」、『国文学研究資料館編『明治の出版文化』、臨川書店、2002 年、181-210 頁
- 「作文する少年たち 穎才新誌創刊のころ」、『日本近代文学』70 号、2004 年、158-166 頁
- 「剣と王 干将・莫邪・眉間尺」、『説話と説話文学の会編『説話論集』第十四集(中国と日本の説話 2)、清文堂出版、2004 年、37-94 頁
- 「中国と鴉外 漢詩文の世界」、『國文學・解釈と教材の研究』50 巻 2 号、學燈社、2005 年、36-42 頁
- 「漢文の命脈 古典文から今体文へ」、『村田雄二郎・C. ラマール編『漢字圏の近代』、東京大学出版会、2005 年、75-90 頁
- 「『支那学』の位置」、『日本思想史学』39 号、日本思想史学会、2007 年、3-10 頁
- 「言と文のあいだ 訓読文というしくみ」、『文学』8 巻 6 号、岩波書店、2007 年、91-98 頁
- 「『申報』の文学圏 『瀛寰瑣紀』創刊前後」、『吉田富夫先生退休記念中国学論集』、汲古書院、2008 年、223-235 頁
- 「Burns 訳『天路歷程』の伝播と変容」、『超域文化科学紀要』14 号、東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻、2009 年、123-140 頁
- 「同文のポリテクス」、『文学』10 巻 6 号、岩波書店、2009 年、38-48 頁
- 「近代訓読体と東アジア」、『沈国威・内田慶市編『近代東アジアにおける文体の変遷』、白帝社、2010 年、109-119 頁。
- 「『悠然』の時空 陶淵明にいたるまで」、『未名』28 号、中文研究会、2010 年、1-22 頁
- 「読誦のことは 雅言としての訓読」、『中村春作・市來津由彦・田尻祐一郎・前田勉編『続「訓読」論』、勉誠出版、2010 年、15-46 頁
- 「文体と思考の自由 福澤諭吉の射程」、『福澤諭吉年鑑』37 号、社団法人福澤諭吉協会、2010 年、75-92 頁
- 「『虞美人草』 修辭の彼方」、『叙説』38 号、奈良女子大学日本アジア言語学会、2011 年、96-109 頁
- 「景観のエクリチュール 志賀重昂『日本風景論』から」、『日本学研究』36、檀国大学校日本研究所、2012 年、7-24 頁

- 「文学論」の射程 ディスクールとしての科学』、『文学』13巻3号、岩波書店、2012年、44-45頁
- 「近代日本のアジア主義と漢文 岡本監輔の場合」、『中国 社会と文化』28号、中国社会文化学会、2013年、11-27頁
- 「吟詠の空間 詩とうた」、『苅部直・黒住真・佐藤弘夫・末木文美士編『儀礼と創造 美と芸術の原初』、岩波講座『日本の思想』第七巻、岩波書店、2013年、243-266頁
- (5) 翻訳、訳注、概説、書評、項目執筆等
- 「D.R.コネクタス譯『文選』第一巻・第二巻」(書評) 齋藤希史・谷口洋・原田直枝共著、『中國文學報』44冊、京都大学文学部中国語学中国文学研究室、1992年、120-136頁
- 「朱子語類讀書法篇譯注(一)~(七)」(訳注)(興膳宏・木津祐子・齋藤希史共訳注)、『中國文學報』47冊、1993年、127-152頁、同48冊、1994年、119-146頁、同49冊、1994年、95-120頁、同51冊、1995年、115-140頁、同52冊、1996年、104-125頁、同53冊、1996年、123-143頁、同54冊、1997年、109-125頁、京都大学文学部中国語学中国文学研究室
- 「朱子語類論文篇譯注(一)~(七)」(訳注)(興膳宏・木津祐子・齋藤希史共訳注)、『中國文學報』55冊、1997年、127-152頁、同56冊、1998年、119-146頁、同57冊、1998年、95-120頁、同58冊、1999年、115-140頁、同59冊、1999年、162-175頁、同60冊、2000年、65-82頁、同61冊、2000年、92-110頁、京都大学文学部中国語学中国文学研究室
- 「黎活仁「国民文学論」と「ポストコロニアル」問題」(コメント)、『国際シンポジウム 日本・中国・朝鮮間の相互認識と誤解の表象 討議集』、京都大学人文科学研究所共同研究資料叢刊第1号、1998年、199-207頁
- 「潘岳」(訳注) 興膳宏編『六朝詩人傳』、大修館書店、2000年、233-244頁
- 「潘尼」(訳注) 興膳宏編『六朝詩人傳』、大修館書店、2000年、304-307頁
- 「謝靈運」(訳注) 興膳宏編『六朝詩人傳』、大修館書店、2000年、414-434頁
- 「謝朓」(訳注) 興膳宏編『六朝詩人傳』、大修館書店、2000年、507-515頁
- 「世系略図」(大平幸代・堂園淑子・齋藤希史共著) 興膳宏編『六朝詩人傳』、大修館書店、2000年、1001-1006頁
- 「玄圃、ニュースレター」、『古典学の再構築』5号、2000年、40-41頁
- 「自然を楽しむ詩」、『しにか』12巻10号、大修館書店、2001年、20-28頁
- 「潘岳 白首まで帰する所を同じうせん」 興膳宏編『六朝詩人群像』、大修館書店(アジアブックス) 2001年、52-58頁
- 「謝靈運 恨むらくは我が君子の志もて巖上に泥ぶを獲ざりしを」 興膳宏編『六朝詩人群像』、大修館書店(アジアブックス) 2001年、90-96頁
- 「『詩』を読む楽しみ」、『月刊百科』460号、平凡社、2001年、58-60頁
- 「評點遡源」(張伯偉、中国語)(翻訳)、『中國文學報』63冊、京都大学文学部中国語学中国文学研究室、2001年、1-67頁
- 「自己と時代の物語」、『東洋文庫ガイドブック』、平凡社、2002年、130-145頁
- 「隠者の読書、あるいは田園の宇宙」、『ロバート・キャンベル編『読むこと』、講談社(選書メチエ) 2004年、163-182頁
- 「『国語』以前」、『表現者』5号、2006年、62-65頁
- 「漢文ノート(1)下宿の娘」~「漢文ノート(25)帰省」、『UP』35巻10号、2006年、33-37頁~42巻7号、2013年、31-38頁、東京大学出版会
- 「訓読の自由」、『東方』319号、東方書店、2007年、2-6頁
- 「思惟する主体 湯川秀樹と漢文脈」、『大航海』67号、新書館、2008年、66-72頁
- 「漢字圏としての東アジア」、『大航海』66号、新書館、2008年、77-85頁
- 「北京八景 文学 記憶された町(大特集 北京)」、『芸術新潮』59巻8号(通巻704号) 新潮社、2008年、90-107頁
- 「詩を読むこと、書くこと 浅見洋二『中国の詩学認識 中世から近世への転換』」(書評)、『創文』513号、創文社、2008年、23-26頁
- 「漢文脈の中の『米欧回覧実記』」、『米欧回覧の会編『世界の中の日本の役割を考える 岩倉使節団を出発点として』、慶應義塾大学出版会、2009年、84-96頁
- 「『庚信と六朝文学』安藤信廣著」(書評)、『新しい漢字漢文教育』49号、2009年、104頁
- 「中国の禅(Chan)から日本の禅(Zen)へ 伝達における異文化間作用(T.カスリス、英語)」(翻訳)、『中国 社会と文化』24号、中国社会文化学会、2009年、4-16頁

- 「むなぎがぬめら握らまく(本の棚 品田悦一著『斎藤茂吉 あかあかと一本の道とほりたり』)」(書評)『東京大学教養学部報』533号、2010年、第3面
- 「漢籍を読む」東京大学東洋文化研究所図書室編『はじめての漢籍』汲古書院、2011年、29-56頁
- 「子どもの領分 魯迅と白話」『こころ』3号、平凡社、2011年、108-113頁
- 「夏目漱石『文学論』シンポジウム総合討論」『文学』13巻3号、岩波書店、2012年、83-95頁
- 「詩のトボス その一 洛陽」～「詩のトボス その七 涼州」『こころ』vol.9、2012年、12-26頁～vol.17、2014年、163-175頁、平凡社

(6) 口頭発表

- 「漢字圏植民地と近代日本文語文」、比較植民主義と文化 国際學術工作坊、中央研究院(台北) 2008年9月5日
- 「類書で学ぶ 類書を学ぶ」Workshop the Foundation of Education in Premodern East Asia, EALAC, Columbia University (New York City, USA), October 3, 2008.
- “East Asia as the Sinographic Sphere”, Workshop/Seminar Culture of Classicism: Retracing Core Knowledge in East Asian Literature, Harvard-Yenching Institute (Cambridge, USA), September 27, 2008.
- 「帝國與漢詩文、區域文化形構與知識生産」国際學術工作坊、成功大学台湾文学研究所(台湾・台南) 2008年11月14-15日
- 「漢詩和帝國 初山衣洲的位置」台湾大学台湾文学研究所學術演講、台湾大学台湾文学系(台北) 2008年11月18日
- “Liberal Education in the Sinographic Sphere, 自由學藝與傳統”、通過東西方核心經典作品的研讀來深入對話體現制度國際學術研討會、台湾交通大学(台湾・新竹) 2008年11月28-30日
- 「東アジア古典世界における「読み」の複数性」ワークショップ「東アジア古典世界 教養の基盤と教育プログラム」、プリティッシュ・コロンビア大学、2009年4月17日、およびカリフォルニア大学ロサンゼルス校、2009年4月20日
- 「訓読の価値と自由」全国漢文教育学会 第25回漢文教育研修会教養講座、湯島聖堂斯文会館(東京) 2009年7月29日
- 「沈約「郊居賦」再探」日本中国学会61回大会、文教大学、2009年10月10日
- 「漢字圏としての東アジア」国際シンポジウム「東アジアの地域交流」、中央研究院近代史研究所(台北) 2009年12月18日
- 「近代訓読体と東アジア」ICIS 第4回研究集会・CSAC 第14回研究集会「近代東アジアにおける文体の変遷 形式と内実の相克を超えて」、関西大学、2009年12月20日
- 「漢籍を読む、はじめての漢籍その二」東京大学東洋文化研究所、2010年6月9日
- 「景観の日本 志賀重昂『日本風景論』から」超域文化科学フォーラム・日台交流シンポジウム「日本を見る視線」、東京大学駒場キャンパス、2011年1月8日
- 「仮名と和習 漢字圏のエクリチュールとして」第23回コロキウム、高麗大学校日本研究センター(ソウル) 2011年4月1日
- 「『支那学』の誕生 考証の学と文化の学」UTCP ワークショップ「伝統学術の再編と国家意識」、コロンビア大学 EALAC(ニューヨーク) 2011年9月15日
- 「景観の修辞(エクリチュール) 志賀重昂『日本風景論』から」檀国大学校日本研究所シンポジウム「東アジアにおける漢文と近代」、檀国大学校(韓国・龍仁) 2011年10月21日
- “Kangaku in Meiji 16: Education and Media”, New Visions of Japan Symposium: Rethinking the Space and Place of Japan, Paul I. and Hisako Terasaki Center for Japanese Studies, UCLA(Los Angeles, USA), April 6, 2012.
- 「翻訳と訓読 現地化される文字として」『東アジアの古典翻訳と文明の疎通』国際學術会議、釜山大学校(韓国・釜山) 2012年5月31日
- “The Space of Cultivated Speech (Yayan): Writing and Language in the Sinographic Sphere”, International Conference: Thinking about ‘Cosmopolitan and Vernacular’ in the Sinographic Cosmopolis, University of British Columbia (Vancouver, CANADA), July 3, 2012.
- 「古典学的位置 東京大学古典講習科を起点として」中国社会文化学会2012年度大会、東京大学、2012年7月8日
- 「普遍と帝国 領域化される漢文」『比較植民主義』国際學術会議、中央研究院(台北) 2012年9月8日
- 「霍公鳥と玉匣 漢籍流通圏文学の成立として」東アジアの漢文学、固有性と共同性 東アジア古典学の可能性と難関国際學術会議、成均館大学校(ソウル) 2012年11月24日

- 「雅言の空間 漢字圏における文字と言語」, 東アジア古典学の可能性と難関 国際学会議、成均館大学校(ソウル) 2013年4月26日
- 「エクリチュールとしての科学 風景描写と自然観察」, 日本近代文学会春季大会、法政大学、2013年5月25日
- 「翻訳と漢文脈」, 日本比較文学会第75回全国大会シンポジウム、名古屋大学、2013年6月16日
- 「近代漢字圏の成立 翻訳と漢文脈」, 韓国日本研究団体第2回国際学会大会基調講演、嘉泉大学校(韓南) 2013年8月23日
- 「科学と文章 地文学の時代」, 高麗大学校日本研究センター講演会、高麗大学校(ソウル) 2013年8月24日

### 3. 主な社会活動

#### (1) 非常勤講師

早稲田大学政治経済学部(2004年4月~現在)

学習院大学文学部(2004年4月~2007年3月、2008年4月~2011年3月、2013年4月~2015年3月)

新潟大学大学院人文科学研究科(2001年12月、集中講義)

神戸大学大学院人文学研究科(2002年12月、集中講義)

北海道大学大学院文学研究科(2013年9月、集中講義)

#### (2) 学会

中国社会文化学会理事(2005年6月~2009年6月、2013年6月~現在)

東方学会評議員(2008年4月~2011年9月) 同学会学術委員(2011年10月~現在)

六朝学会理事(2011年4月~現在)

近世京都学会幹事(2011年6月~現在)

日本近代文学館運営審議委員(2011年8月~現在)

日本中国学会評議員(2013年4月~現在)